

報道関係者 各位

2009年3月25日 日本科学未来館

## 企画展 「お化け屋敷で科学する！ — 恐怖の研究」

2009年4月22日(水)より開催

日本科学未来館(略称:未来館、館長:毛利衛、所在地:東京都江東区青海)は、2009年4月22日(水)～2009年6月22日(月)まで、企画展「お化け屋敷で科学する！ — 恐怖の研究」を開催します。

近年の脳研究は、感情、記憶、意識などの心の動き、さらには無意識の領域にまで踏み込んでいます。恐怖など心の動きの基盤となる脳の仕組みは徐々に明らかになり、過度な恐怖に対する治療や予防に関する研究も進んでいます。さらには「お化け」などの超常現象さえ、脳科学での説明が可能になってきました。本展は、このような恐怖に関する先端研究を、様々な研究事例で紹介するとともに、会場内に「お化け屋敷」を設置することで実際に恐怖を体験し、実感をもって理解する構成となっています。知識を得るだけの展示ではなく、感覚にも訴えかけることにより、人間にとって根源的な感情の一つである「恐怖」に迫る展覧会です。

恐怖はどのように生まれ、私たちの記憶に刻まれるのでしょうか。現代の私たちが抱える怖れを、どうしたら克服できるのでしょうか。そもそも、私たちにとって恐怖とは何なのでしょう。そうした問いに答え始めた先端科学に触れ、恐怖をはじめとする心の動きを客観的に捉え、考えていきます。

### ■ 概要 ■

- 会 期 2009年4月22日(水)～2009年6月22日(月)  
開催時間 午前10時～午後5時(入館は閉館時間の30分前まで)  
※5月2日～6日は午前10時～午後6時  
場 所 日本科学未来館 1階 企画展示ゾーンa(住所:東京都江東区青海2-41)  
主 催 日本科学未来館、フジテレビジョン  
休 館 日 毎週火曜日 ※5月5日は開館  
入 場 料 大人 1,200円、18歳以下 500円 / 団体8名以上 大人 1,000円、18歳以下 400円  
※常設展示見学可  
※小学校未就学児は無料  
※障害者手帳所持者は当人および付き添い者1名まで無料

一般からのお問い合わせ先	このリリースに関するお問い合わせ先
日本科学未来館 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL: <a href="http://www.miraikan.jst.go.jp">http://www.miraikan.jst.go.jp</a>	日本科学未来館 広報・国際渉外室 広報担当 ( <a href="mailto:press@miraikan.jst.go.jp">press@miraikan.jst.go.jp</a> ) 〒135-0064 東京都江東区青海2-41 TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

## [展示構成]

### ■ 科学トピックス学習エリア ～「恐怖」をテーマとした先端の研究動向～

#### 【恐怖は必要な感情だ！】

抑え込むのが難しく、伝染もする「恐怖」。しかし、恐怖が備わっているから、生物は危険を回避することができます。生きる上で不可欠なことながらも、しばしば私達を悩ませる、このやっかいな感情を生み出す脳の仕組みを解明します。

#### 【恐怖の研究法】

恐怖に関する研究はどのようにして行われているのでしょうか。恐怖を感じる心の動きと遺伝子の関係や、恐怖の記憶が脳に焼きつけられる仕組みを明らかにする実験など、最新の研究事例を紹介します。

#### 【どうすれば、恐怖に強くなれる？】

恐怖の記憶をやわらげたり、恐怖に強い脳を作るには、どうすれば良いのでしょうか。最新の研究から得られた、恐怖克服のためのヒントを紹介します。

#### 【結局、お化けはいるのかいないのか】

心霊写真、降霊術、背後霊、幽体離脱、第六感など。いわゆる超常現象の中には、脳科学で説明できるものがあります。科学が発達した現代の私達を怖がらせる、お化けの存在の有無を解き明かします。

### ■ お化け屋敷体感エリア ～映像や特殊装置を駆使した恐怖のアトラクション～

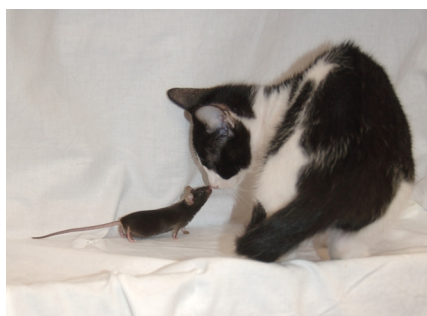
会場内のお化け屋敷の企画・制作は、昨年まで開催されてきたフジテレビ「お台場冒険王」で、お化け屋敷を手がけてきたチームが担当。これまで様々なモチーフで恐怖を演出してきたノウハウを生かし、「恐怖の研究」をテーマに、映像・音響・特殊効果を駆使した本格的なお化け屋敷を製作します。「実験室」、「飼育室」、「薬品庫」など、研究にちなんだ呼び名の仕掛けにより、体験者ひとりひとりが恐怖を感じながら、恐怖を客観的に観察することができます。

※ お化け屋敷を体験せずに、科学トピックス学習エリアのみを観覧することも可能です。また、お化け屋敷体感エリアを途中で退出することも可能です。

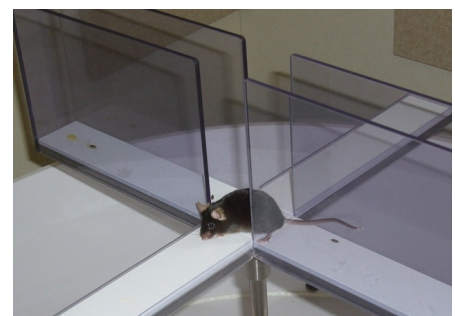
## [参考画像]



本展のロゴマーク



遺伝子操作で恐怖の匂いを感じなくなったマウス  
画像提供:小早川高・令子(大阪バイオサイエンス研究所)



恐怖の感じ方を計測する実験装置  
画像提供:宮川剛(藤田保健衛生大学)

本件に関するプレスリリース、及び関連画像は未来館ホームページよりダウンロードしてご利用いただけます。

URL: <http://www.miraikan.jst.go.jp/press/>